

『ル・アンヌトン』1867年7月4日号のロッシーニのカリカチュア

(水谷彰良コレクションより)

『ル・アンヌトン』と1867年7月4日号のカリカチュア

1862年に第二帝政期のパリで創刊された新聞『ル・アンヌトン [コガネムシ] (*Le Hanneton*)』は、1862年11月30日の第1年第1号から1868年7月9日の第7年第28号まで約5年7カ月発行された。表紙に有名人のカリカチュアを多色刷りのリトグラフで掲載する『絵入りル・アンヌトン、風刺と文学 (*Le Hanneton illustré, satirique et littéraire*)』としての発行は1867年2月14日から1868年7月9日までの僅か1年5カ月で、1865年創刊の『ラ・リュヌ (*La Lune*)』を迫る形で刺激的なイラストを掲載し、係争により廃刊を余儀なくされている。毎号4頁からなり、表紙以外の3頁に戯文を読み物として多数掲載している。

ロッシーニの有名なカリカチュアを掲載したのは1867年7月4日号(第6年、第21号)で、らっばを吹きながら鐘を鳴らし、大砲に点火するロッシーニが音楽と騒音で世界を満たす様子が描かれている(左横に描かれているのはマカロニにソースを注入するための銀の注入器と思われる)。これは7月1日に博覧会産業館で初演された《ナポレオン3世とその勇敢なる民衆への“賛歌”》を題材にした風刺絵で、『ラ・リュヌ』7月6日号にも同じ題材のロッシーニのカリカチュアを掲載している(別稿「アンドレ・ジルによるロッシーニのカリカチュア(『ラ・リュヌ』パリ、1867年7月6日号)」参照)。

筆者所蔵のサイズは47.5×31.5 cm。画像の左下に「H. Mailly」とあり、カリカチュアの作者がイポリート・メリ(Hippolyte Mailly, 1829-?)と判る。下部にはロッシーニが『ル・アンヌトン』主幹ヴィクトル・アザム(Victor Azam [1867年2月14日から発行人/主幹])に宛て、「四流ピアニストとなっただけで、貴誌にカリカチュアが公にされることに反対しない」と記した掲載許可の文章と署名が複製されている(1867年6月28日付)。



『ル・アンヌトン』1867年7月4日号(第6年、第21号)のロッシーニのカリカチュア(筆者所蔵)